

# 遠賀川流域治水協議会

遠賀川水系河川整備計画の変更について  
(令和4年3月24日 公表)

令和4年5月16日

遠賀川流域治水協議会

# 整備計画変更のポイント

## ① 平成30年7月洪水や気候変動の影響を踏まえた見直し

現在の整備計画目標流量を上回る平成30年7月洪水や、気候変動に伴う降雨量の増大を踏まえ、目標流量を見直します。

### ■平成30年7月洪水

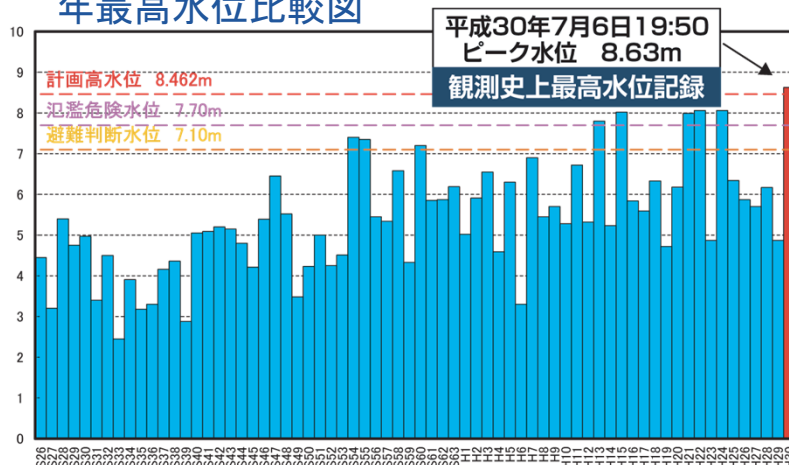
▼遠賀川河川事務所付近



日の出橋水位観測所（直方市）において、約3時間もの間計画高水位を超過し、川島水位観測所（飯塚市）においても約1時間もの間、計画高水位を超過しました。

国管理河川では、越水などの被害は無かったものの、支川では氾濫し多数の家屋浸水が発生しました。

### ■遠賀川（日の出橋水位観測所）における年最高水位比較図



### 目標流量の見直し

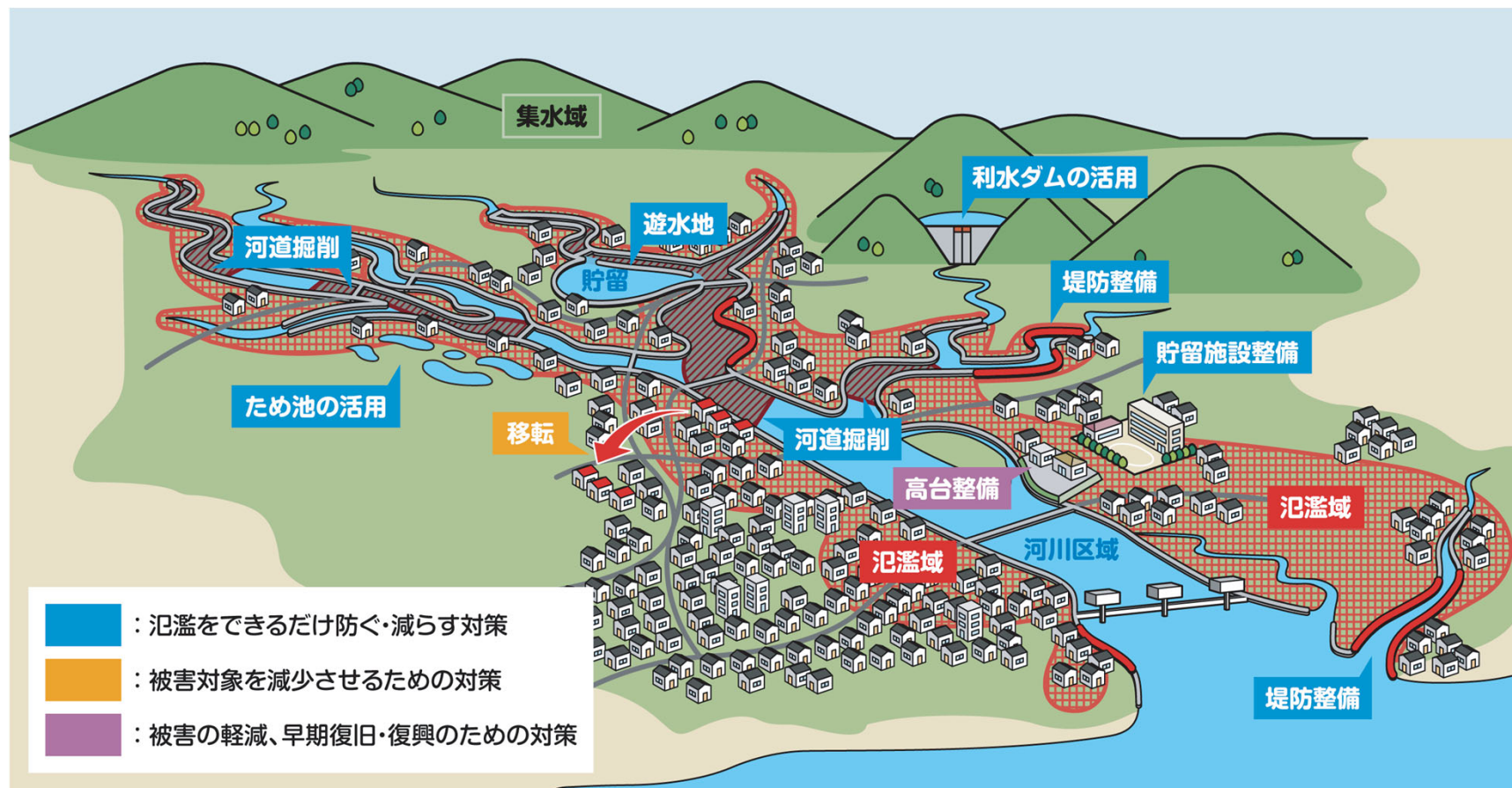
- 現在の整備計画の目標流量に、気候変動による降雨量の増加等を考慮し、基準地点日の出橋において4,300m<sup>3</sup>/sを確保します。
- 観測史上最高水位を記録した、平成30年7月洪水と同規模の洪水に対しても、被害の防止または軽減を図ります。

遠賀川本川における 整備目標の基準地点流量	基準地点	目標流量
	日の出橋	4,300m <sup>3</sup> /s

## ② 流域治水の取り組みを追加

遠賀川流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策「流域治水」を推進します。

河川整備にあわせ、地域の特性に応じた、氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策、被害対象を減少させるための対策、被害の軽減・早期復旧・復興のための対策をハード・ソフト一体で進めます。



# 遠賀川流域における流域治水の取り組み

整備の途上段階や本整備計画の目標が達成された場合においても、気候変動による水災害の激甚化・頻発化によって計画規模を上回る洪水が発生するおそれがあるため、集水域と河川、氾濫域を含めて一つの流域と捉え、流域のあらゆる関係者で被害の軽減に向けた「流域治水」を推進する必要があります。

遠賀川水系では、令和3年3月に「遠賀川水系流域治水プロジェクト」をとりまとめ、公表したところです。

引き続き、自治体等への支援や流域のあらゆる関係者に遠賀川流域のリスク情報などを提供し共有化を図るとともに、流域の多くの関係者が一体となって、実効性のある遠賀川水系の「流域治水」に取り組み、防災・減災対策を推進します。

## ■ 遠賀川水系流域治水プロジェクト

[http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/disaster/ryuiki\\_chisui](http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/disaster/ryuiki_chisui)



## 氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策

- 河川整備計画で定めた整備目標に向け、整備を実施していきます。
- 既存のダムの洪水調節機能の向上に、関係者と協働・連携し、取り組みます。
- 自治体等の関係者と連携し、雨水貯留施設等の整備を図ります。

【小中学校】



【市民公園等】

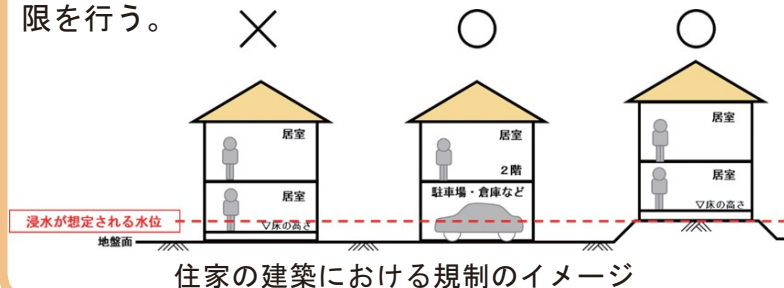


校庭や公園等に貯留施設の設置（飯塚市）

## 被害対象を減少させるための対策

- 水災害を考慮したまちづくりの支援を行います。
- 浸水の危険性が高い地域において、土地利用に関するルールづくり等を自治体や関係者等と連携して進めることで、浸水被害対象の軽減・減少を図ります。

浸水の危険性が高い地域において、新たに家屋等の建築などを行う場合に自治体の条例に基づき建築の制限を行う。

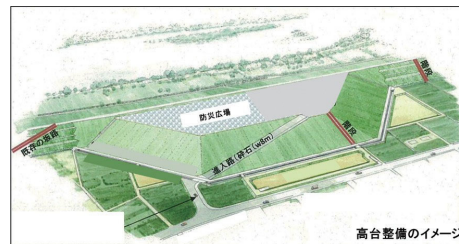


住家の建築における規制のイメージ



## 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 防災拠点や高台の整備を実施し、安全な避難場所を確保する等の取り組みを行います。
- 教育関係者や住民団体等と連携し、マイ・タイムラインの作成支援などを行い、防災意識の啓発、防災知識の普及に取り組めます。
- 流域内市町村の庁舎を光ファイバーケーブル網等で接続し、河川監視カメラの映像などの防災情報をリアルタイムで提供します。



高台整備のイメージ図



マイ・タイムライン講習会

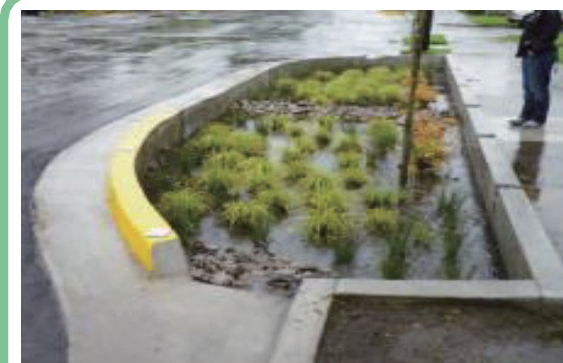
## グリーンインフラの推進

- 自治体による取り組みを促進するため、雨水貯留や浸透等の自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの推進を図ります。



側溝・保水性舗装から入った雨水は、雨水貯留浸透基盤により地表までしみ上がり、蒸発散作用により気温の低減効果が発揮されます。

出典：横浜市提供資料、グリーンインフラ総研



グリーンストリート

道路沿いの緑地の縁石を一部空けて、緑地内に雨水を流し込む仕組みになっている。出典：国土交通省総合政策局環境政策課調査